

チェック項目	あなたの印象	
	そう思う	そう思わない
Q1 企業・団体の代表は男性が担っている		
Q2 意思決定機関(役員会・理事会など)の構成員は男性が担っている		
Q3 営業・外回り・渉外関連部署などは主に男性が担っている		
Q4 経理・総務・人事など組織内の間接部署は主に女性が担っている		
Q5 コピー・お茶出しなどの雑務は主に女性が担っている		
Q6 長時間労働者、夜遅くの対応・業務は主に男性が担っている		
Q7 正規社員は主に男性、非正規社員は主に女性が担っている		
Q8 力仕事は主に男性が担っている		
Q9 ケア・サポート仕事は主に女性が担っている		
Q10 研修や能力開発の機会は主に男性に与えられている		
Q11 育休など子育て両立制度の活用、子育てに関する配慮を受けているのは主に女性である		
Q12 夜の会合が頻繁にある		
Q13 夜の懇親会が頻繁にある		
Q14 在宅勤務・テレワーク・オンライン会議が定着していない		
Q15 上層部の方が男女共同参画意識は低い		
Q16 年齢の高い人の方が男女共同参画意識は低い		
Q17 (地方に本社・支店がある場合は都心部よりも) 地方部の方が男女共同参画意識は低い		

「そう思う」にチェックが付いた項目	判定
Q1・2	意思決定層の格差が起きている可能性がある
Q3～9	性別役割分業意識が根付いている可能性がある
Q10・11	男女の機会の格差が広がっている可能性がある
Q12・13・14	固定的な働き方による格差が起きている可能性がある
Q15	組織層での意識差が強い可能性がある
Q16	世代の意識差が強い可能性がある
Q17	地域の意識差が強い可能性がある

要チェック

ジェンダー・ギャップを解消していくには、性別にかかわらず互いを尊重し、意欲や能力を発揮できる職場を作っていくことが大切です。まずは気付くことから始めて、みんなで意識改革をしていきましょう



参加して考えよう

2023 男女共同参画市民フォーラム in いわみざわ
「〇〇らしさ」の中に隠れた偏見について考えてみませんか?

参加無料

手話通訳あり

日時 6月25日(日) 午後1時30分～3時30分
 場所 自治体ネットワークセンター4階マルチメディアホール(有明町南1)
 講演 マンガから考えるジェンダー
 講師 吉村和真さん(京都精華大学マンガ学部教授)
 定員 70人(申込順)
 申込方法 6月1日(木)から21日(木)までに、氏名(ふりがな)、電話番号、市内・市外の居住の別、託児の有無(有の場合は、子どもの氏名(ふりがな)、年齢、性別)、配慮の必要の有無(車いす、手話通訳など)を電話、ファックス、Eメールまたは市ホームページのフォームで
 申込先 いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議事務局(市民連携室男女共同参画担当)
 ☎ 35-4271 FAX 23-9977 Eメール danjo@city.iwamizawa.lg.jp

託児無料
1歳以上の未就学児



読んで考えよう

書籍を展示します!

市立図書館にフォーラムの講師 吉村和真さんの書籍や男女共同参画に関係する書籍を展示します。ぜひ、足を運んでください。
 期間 6月6日(火)～29日(木)

同時開催
第8回 男女共同参画
川柳コンテスト表彰式

毎年6月23日から29日まで「男女共同参画週間」

無くそう思い込み、守ろう個性
みんなでつくる、みんなの未来。

(令和5年度 男女共同参画週間キャッチフレーズ)



性別に関わらず職場や学校、地域や家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、皆さん一人一人が男女共同参画に関して正しく理解する必要があります。

今月号では「ジェンダー・ギャップ」をテーマに性別による格差を考えます。

問合せ 市民連携室男女共同参画担当 ☎ 35-4271



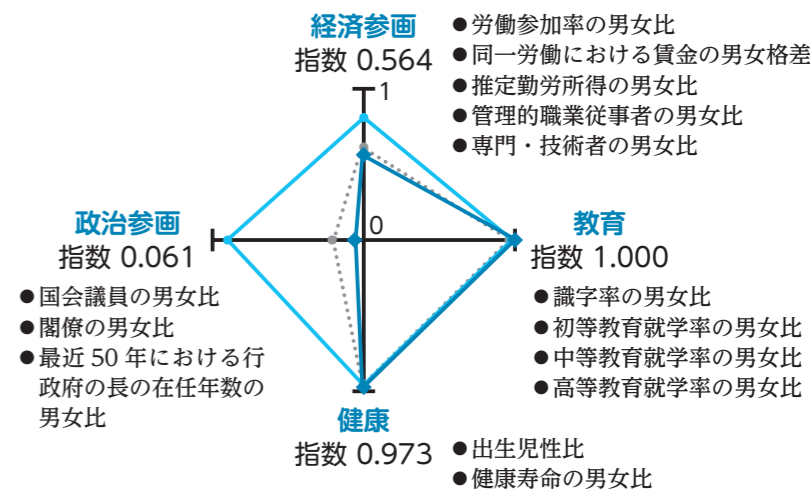
ジェンダー・ギャップって?

性別の違いによって生じるさまざまな格差のことです。家庭や職場、社会制度などで「男だから」「女だから」という理由で区別されることで生じます。

【日本のジェンダー・ギャップ指数】

ジェンダー・ギャップ指数は、各国における男女の格差を測る指数のことです。「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野で作成され、0が完全不平等、1が完全平等を表しています。

世界経済フォーラムが発表した2022年のジェンダー・ギャップ指数で日本の総合順位は、146カ国中116位で、前年(156カ国中120位)と比べてほぼ横ばいの結果でした。日本の各分野の順位は「教育」で1位、「健康」で63位と世界トップクラスですが「経済」で121位、「政治」で139位と低い順位になっています。



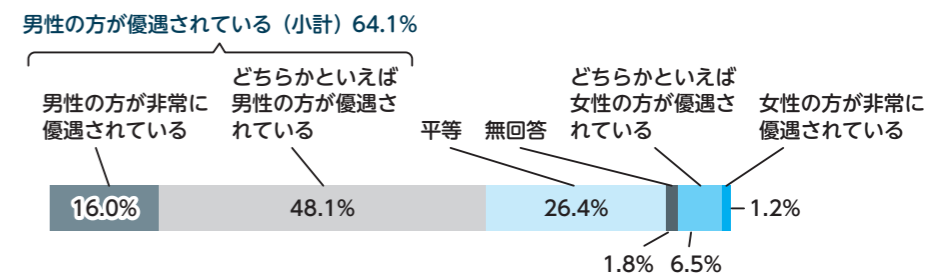
アイスランド(指数0.908) 1位/146カ国
 日本(指数0.650) 116位/146カ国
 平均(指数0.681)



「経済」分野で考えてみよう

令和4年度に内閣府が職場における男女の地位の平等感を調査したところ「平等」と答えた割合が26.4パーセント、「男性の方が優遇されている」と答えた割合が64.1パーセントでした。

経済分野の格差をなくすためには、男女間の賃金・年収格差や管理職の男女割合の見直しなど、労働環境の整備が必要です。



皆さんの職場を
チェックしてみよう

経済分野での女性活躍推進、女性のエンパワーメント*の促進に向け、内閣府男女共同参画局がジェンダーギャップチェックシート(試作版)を作成しました。次のページにチェック項目を掲載していますので、あなたの職場はいくつ当てはまるかチェックしてみてください。
 ※個人の持っている力を発揮し、自発的に行動できるようにすること。